

22. 特色ある議会運営・施設の事例

◆北海道 旭川市 E

(1) 予算・決算の審議方法について

① 予算・決算の各審査特別委員会(議長を除く全議員で構成)を設置し、議案を付託し、2つの常任委員会を1つの単位とする分科会で所管する議案に対する質疑を行った後、特別委員会で総括質疑、討論・採決を行っている

(2) 議会のバリアフリー化の一環として、本会議傍聴に際して次の取組を行っている

- ① 手話通訳の実施～視聴覚障害者から事前の申込みに応じて手話通訳者を配置している
- ② 補聴装置の貸出～補聴装置(ヘッドホン)10台を常備し、音を聴きとりにくい方に貸出している
- ③ 議会棟の完全分煙化の実施～受動喫煙対策として、「談話室」を除き全面禁煙とし、会議室、応接室等から灰皿を撤去している。また、来庁者に周知するための「分煙実施プレート」を設置している

(3) 各議員控室等にインターネット回線を布設している

◆北海道 室蘭市 C

インターネットを通じての議会本会議のライブ中継と終了分の録画放送実施。また、ライブ中継中は、市民操作用カメラ1台を開放。遠隔操作を可能としている

◆北海道 夕張市 A

模擬議会については、近隣市町村の中・高生の研修目的のため、閉館となった映画館の施設利用とともに、観光集客メニューとして利用されている

◆北海道 富良野市 A

平成13年から年1回議場に於いて、尺八とギター演奏、女声合唱、玄楽器演奏、大正琴演奏、尺八と琴演奏などの議場コンサートを開催し、市民に開かれた議会、親しまれる議会を目指している

◆北海道 登別市 B

(1) 議場内に専門の質問席を設け、一般質問は最初演壇で行い、再質問は質問席から行うこととした(平成16年第1回定例会から)

(2) 代表質問を廃止し、一般質問のみとした(平成16年第1回定例会から。従前、第1回定例会と市長選後の最初の定例会で代表質問と一般質問の併用制を採用していた)

◆青森県 八戸市 D

予算・決算特別委員会における質疑の事前通告制の導入

◆宮城県 岩沼市 A

平成16年2月定例会より、一般質問時の対面型、一問一答方式を導入した

◆山形県 米沢市 B

昭和54年2月臨時会より毎年3月定例会初日に「きもの議会」を開催している。これは、米沢市の基幹産業として、長年にわたり、地域経済の発展に貢献してきた米沢織物業界のさらなる振興と活性化を支援するため、本会議への出席者全員が「きもの」を着用し、会議に出席するものです。最近時は着物地のスーツ姿で出席される議員も見受けられる様になりました

◆山形県 酒田市 B

本会議をインターネット上で生中継している

◆東京都 墨田区 D

本会議場及び委員会室を区が主催する会議等に使用する場合に貸出をしている(一定条件あり)

◆東京都 大田区 G

毎年、終戦記念日(8月15日)に、区議会議員全員参加による「平和祈念コンサート」を実施し、その収益金を対人地雷廃絶に取り組むNPO(区内に事務所)に贈り、恒久平和に向けた取り組みを行っている

◆東京都 中野区 E

平成16年から、本会議における一般質問、予算・決算特別委員会における総括質疑について質問の時間制を導入した(第一回定例会から施行、第二回定例会から本格実施)

◆東京都 八王子市 G

議場コンサートを各定例会初日に実施、一般市民サークルの出演を随時募集している

◆東京都 青梅市 C

一般質問における対面方式の採用 平成16年3月議会から議員席側に演壇を設け、一般質問等に執行部と対面して質問ができるようにした

◆東京都 日野市 C

プチ・コンサート(議場コンサート)の開催

◆東京都 羽村市 B

常任委員会行政視察報告会の開催

(1)【日時】平成16年11月22日午後1時30分～午後4時30分

(2)【会場】羽村市コミュニティーセンター

(3)【発表】各常任委員会委員

(4)【聴衆】羽村市理事者、職員、附属機関委員、町内会長、その他一般市民

(5)【発表方法】パワーポイント

◆神奈川県 川崎市 H

本会議に区長が出席している(代表質問及び通告がある一般質問)

◆神奈川県 横須賀市 F

委員会審査において一般所管事項について質疑を行っている(その委員会の所管に関して、一問一答方式のフリーの質疑時間を設けている。本会議の質問は原則として市長に対し、政策的な判断を求める事項に限るとしており、部局長の段階で答弁が可能な事項はすべて常任委員会で行っている。発言通告、時間制限、回数制限はない)

◆神奈川県 厚木市 D

市庁舎議場テレビ放映システム

◆山梨県 塩山市 A

議場コンサート開催

◆栃木県 宇都宮市 F

平成 17 年度より高校 2 年生、中学 2 年生を対象とした「宇都宮ジュニア未来議会」を 8 月 19 日に開催予定。次年度以降も定期的に開催する

◆栃木県 栃木市 B

(1)【議会施設】 対面式の質問席の設置。執行部席への自席マイクの設置

(2)【議会運営】 一般質問に一問一答方式の導入。再質問回数の制限を撤廃。持ち時間(30 分)から、議案に対する質疑と一般質問を分離。請願、陳情の受付締切りの弾力的な運用。休日(土曜)議会の開催

◆群馬県 太田市 C

毎年 6 月定例会の本会議初日開会前に、おおた芸術学校付属オーケストラ「ジュウネス」による議場での演奏を行っていた(平成 10 年～)

◆埼玉県 さいたま市 H

(1)市政に対する一般質問(代表質問)の質問者の持ち時間について、答弁時間を含むこととした

(2)会期中委員会の付託議案・請願審査後に、議案以外の委員会所管事項についての質問枠を設けた(事前通告・持ち時間制の会派按分、答弁時間を含む)

◆埼玉県 川越市 E

議場コンサートの開催(平成 14 年 2 月 26 日より実施)

◆埼玉県 草加市 D

演壇のほかに、質問席及び答弁席を設置し、対面方式による、市町提出議案に対する質疑及び市政に対する一般質問を実施している。また、インターネットを利用して、本会議中継及び録画放映を実施している

◆埼玉県 日高市 B

一般質問の方式・一括質問一括答弁方式・一問一答方式・併用方式から 1 つを通告時に選んでいる(現在試行中)

◆千葉県 白井市 B

今後一問一答方式の導入を予定している

◆静岡県 沼津市 D

【会議録作成支援システムの導入】

従前、本会議については録音テープを業者に送付し、反訳作業していた。また委員会については、担当書記が録音テープを聞きとり手書きにて反訳し、浄書委託していたが、「音声認識による議事録作成支援システム」を導入し、委員会室の配線工事、PC 設置、運用試験等を経て、平成 16 年 6 月定例会から本会議及び委員会開催時における同時文字化作業を本格稼働させた。これにより、問題発言箇所の即時印刷や委員会審査の経過及び結果を本会議で報告する委員長報告作成の時間が十分確保できるなどの効果が得られ、また、会議録浄書委託料の削減にもつながった

◆静岡県 掛川市 B

円形議場(議会施設)

◆愛知県 名古屋市 H

本会議場において名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏会を実施(年 1 回平成 17 年 2 月開催)

◆愛知県 一宮市 D

対面式一問一答方式による一般質問の実施

◆三重県 四日市市 D

自治基本条例調査特別委員会において、市議会モニターに傍聴者として出席要請し、委員会を協議会に切り替えた上、意見を聴取し、条例案に反映させた

◆三重県 亀山市 A

議場内前後に液晶テレビ(45 型)を設置し、モニターしている

◆岐阜県 郡上市 A

各分野の特別委員会を設置している

◆大阪府 大阪市 H

【平成 16 年度「夏休み親子議場見学会」】

(1)8 月 4 日(水)・8 月 5 日(木)計 2 回

(2)各日 50 名(2 日間で 100 名)公募により募集(申込者多数の場合は抽選)

(3)【対象】 市内在住・在学の小学 3～6 年生の児童とその保護者

(4)【内容】 市会本会議場や委員会室など市会構内の案内と模擬本会議や模擬委員会を交えながら市会の役割やしくみなどについて説明を行う。 ※参加者 2 日間 93 名

◆大阪府 堺市 G

16 年 4 月～新庁舎の議場が円形型で傍聴席に親子室を設置している。1F エントランスホール 2 ヶ所で本会議モニター放送を開始

◆大阪府 大東市 C

- (1)議場コンサート(フルート)(平成 16 年 9 月)・議場講演会(H16 年 12 月)各 15 分程度
- (2)議場での全員協議会の開催(平成 16 年 6 月～)

◆大阪府 東大阪市 F

聴覚障害者用のワイヤレス型専用補聴器

◆京都府 宇治市 C

- (1)月 1 回程度の常任委員会の開催(行政報告を積極的に受ける)
- (2)委員会資料の、議員・市民(傍聴者を含む)への事前配布
- (3)政務調査費の会派・議員への支給、領収書の添付
- (4)議運・全協の公開、速記録作成

◆京都府 城陽市 B

- (1)本会議における補正予算の審議方法の改善
- (2)一般質問の 1 人当たりの所要時間及び通告内容の改善
- (3)陳情の審査方法の改善

◆滋賀県 彦根市 C

車椅子用傍聴席、視覚障害者用磁気誘導無線装置、障害者用トイレの設置により、傍聴しやすい環境づくりに努めている

◆滋賀県 甲賀市 B

在任特例期間中で議員定数 80 名のため消防本部屋内訓練場を仮議場とし、議会ごとに備品一式等を設置している。マイク設備等については、業者委託している

◆兵庫県 尼崎市 F

身体障害者対策として、議員席から演壇にスロープを設置し、段差を解消するとともに演壇を電動で昇降可能とし、車椅子等にも対応できるようにしている

◆兵庫県 芦屋市 B

請願提出者による、口頭陳述の実施

◆兵庫県 伊丹市 C

議場コンサートを第 1 回定例会の冒頭に行っている

◆岡山県 井原市 A

円形議場(対面式)

◆広島県 広島市 H

事務局の分煙化(事務局内に喫煙室及び議会棟ロビーに喫煙コーナー設置)

◆山口県 小野田市 A

地域イントラネットの光ファイバー網を活用し、市役所ロビー及び市内 7 公民館で一般質問生中継を実施している

◆愛媛県 松山市 G

「親しまれる市議会をめざして～今、議場が面白い～」平成 16 年 11 月 27 日開催

【趣旨】 議場を市民に開放し、講演や軽音楽の演奏等を楽しんでいただき、市民に親しまれる開かれた市議会をめざす

【実績】 公募市民 150 名、講演永江孝子氏（南海放送アナウンサー）、PTA コーラス、独唱、ヴァイオリン演奏

◆愛媛県 今治市 C

聴覚障害者の方が、本会議及び委員会の傍聴を希望される時、手話通訳者または要約筆記通訳者の派遣を受けて傍聴ができる制度を整備

◆愛媛県 伊予市 A

議会だよりの発行

◆高知県 高知市 E

(1)【施設】 本会議場傍聴席に車イス用リフト及び傍聴席を設置

(2)【運営】 高知市議会情報公開条例及び高知市議会個人情報保護条例を施行。議会事務局に法務担当参事を配置

◆福岡県 福岡市 H

乳幼児同伴で議会を傍聴できるように、本会議場に防音が施された特別傍聴席(5 席)を設置

◆福岡県 筑紫野市 B

平成 16 年 4 月から情報公開条例の実施機関に議会が参入したことに伴い、委員会会議録を逐語記録により作成している。委員会室に音響・録音装置がないため、録音取材から委員会会議録作成までの業務を一括して業者に委託している。委託会社は速記者の資格を有する社員を派遣し、レコーダー(カセットテープ、IC)マイク、ミキサー等を設置し録音するとともに発言者の名前や発言の内容など一部速記を交えながら進行管理表を作成し、録音を補完している。委員会終了後 2 日～7 日後に委員会会議録の粗原稿を納品させ、委員長報告の参考資料として利用

◆佐賀県 佐賀市 C

一般質問における対面方式での一問一答制の導入

◆熊本県 八代市 C

本会議・委員会のインターネット及びイントラネット網による中継。八代市では、平成12年8月から庁内ロビーにおいて、モニター放映を行っていたが、加えて平成16年6月定例会からは地域イントラネット網を利用して、八代市郡内15ヶ所(プラズマディスプレイ)及びインターネットへの中継を実施している

【放映内容】

(1)本会議(ライブ及び録画)、委員会(ライブのみ)を放映

(2)本会議場-可動式カメラ3台、固定カメラ4台、委員会室-固定カメラ2台(1室カメラ1台)

◆熊本県 人吉市 A

「議会中継システム」インターネット及びイントラネットにより、本会議のライブ映像・録画映像を配信

◆熊本県 玉名市 A

モニターテレビによる本会議放映(庁舎設置のテレビによる生中継)テープレコーダーによる委員会(常任委員会、議会運営委員会、特別委員会)の全文記録

◆熊本県 上天草市 A

合併により議員の任期について在任特例を使用し、議員が61人となったため議場として公民館のホールを議会開会期間のみ利用した

◆大分県 大分市 F

点字点訳機を所有している

◆大分県 津久見市 A

庁内インターネットによる議会中継

◆宮崎県 宮崎市 E

議場内に傍聴者向け大型スクリーンの設置